

まちかど・ズーム IN!

俳句による組曲で白石を表現

キューブ&ジュニア合唱団コンサート



2月15日、ホワイトキューブで第3回目となる白石キューブ合唱団とジュニア合唱団のコンサートが開かれました。

今回のコンサートでは「橋多き白石城下春の月」「館堀の水尾ひく草に糸とんぼ」など、八島葉子さん(本町)が白石の情景を詠んだ俳句6句に、菊池嘉雄さん(旭町)が曲をつけたミニ合唱組曲「巡る流れに」をはじめとした合唱曲が披露され、聴衆を魅了していました。

滑り自慢が白石スキー場に集結

第2回アザレア杯スキー大会

2月23日、白石スキー場Bコースで、第2回アザレア杯スキー技術選手権大会が開催されました。



大会には市内外から119名の選手が参加して、小回り・大回り・総合滑走の3種目を男女年齢別に競いました。

優勝者は次の方々です。(敬称略)

- ◇男子○15~40歳の部 水上博一
- 41~55歳の部 木村則之
- 56歳以上の部 佐藤武士
- ◇女子○15~40歳の部 坂田理恵
- 41~55歳の部 高橋久枝

新たな門出を祝いました

手をつなぐ育成会「卒業を祝う会」



3月16日、中央公民館で、障害を持つ親たちなどをつくる白石市手をつなぐ親の会が、この春小中学校や養護学校を卒業して、中学生や養護学生、社会人として新たな門出を迎える7名の「卒業を祝う会」を開きました。

記念品の贈呈や歌や踊りの交流会などが催され、7名の卒業生たちは、「これからも勉強に仕事に一生懸命頑張っていきたい」と力強く抱負を語り、在校生や来賓からも「体に気を付けて頑張って」などと激励されていました。

中心市街地再生を目指して

白石まちづくり株式会社創立



2月17日、白石商工会議所で、市の中心市街地活性化を目指し、広く市民に出資を求めて設立の運びとなった「白石まちづくり株式会社」の創立総会が開催されました。

総会では、創立までの経過報告の後、代表取締役柳原誠一氏を選任する役員選任案件などが承認されました。今後、同社では、壽丸屋敷を中心市街地の核と位置づけ、各種ソフト事業やイベントなどを堅実に展開していくとのこと。新しいまちづくりの原動力となることが期待されています。

勇壮な太鼓の競演

第3回宮城県太鼓フェスティバル

宮城県太鼓連絡協議会主催による第3回宮城県太鼓フェスティバルが2月23日、ホワイトキューブで開催されました。

フェスティバルでは、県内の太鼓演奏団体など18のグループが、競い合うように、心に響く力強い太鼓の演奏を披露しました。

また、「おだづもっこりどんちゃん広場」と銘打った物産展や飲食店のスペースも設けられ、約2,000人の観客がお祭り気分になりました。



生涯学習に取り組む市民の祭典

第22回「公民館まつり」

公民館で生涯学習に取り組む市民の祭典、第22回公民館まつりが、3月7日から9日までの3日間、中央公民館で開催され、各種展示発表や即売などの多彩な催しに、大勢の市民が訪れました。



文化講演会では、テレビ放送でおなじみの弁護士三瀬顕さんが、「身近な生活笑百科」と題して、債権や財産などについて、幸福な家庭生活を送るためのアドバイスを、ユーモアいっぱい披露しました。

*3月号の広報で「発表の部」の開催時間に誤りがあり、関係者や観覧の皆様にご迷惑をおかけしました。謹んでお詫び申し上げます。